

リンゴハダニ調査 天敵導入日 見極め

掲載日：令和7年7月3日（木）

日野市百草萬蔵院台りんご生産組合は6月中旬、組合員のリンゴ園2カ所で第1回ハダニの発生状況調査を行った。調査結果を踏まえ、今年为天敵製剤の導入日は7月9日に決まった。また、2回目のハダニ調査も放飼2週間後以降と決まり、次回はハダニとカブリダニの両方を対象に調査する。

調査は同生産組合員2人と南多摩農業改良普及センター2人、JA東京みなみ営農指導担当者1人の合計5人で行った。

同生産組合では以前、ハダニの被害に悩まされていた。2014年にハダニ天敵製剤のスパイカルプラスを導入してからは、被害が減少している。導入後は毎年6月にリンゴ畑のハダニ発生状況調査を行い、その年の天敵製剤の導入日を決めている。

同普及センターは今年の調査結果として、「ハダニ被害もあるが、土着のミヤコカブリダニが被害拡大の防止となっていることから、栽培状況に問題はない。天敵製剤を10年以上導入し、防除暦の見直しにより年間を通したカブリダニに影響の少ない農薬散布をしているおかげではないか」と話した。



ハダニ調査をする生産者（東京都日野市で）